

3. 今月の定例会は、メンバーの友人のご厚意で築100年の異人館の一室をお借りし、中華民国建国の父「孫文」が見守る下で行いました。

会議に間に合うよう早くから暖房が入れられ、またジャスミンティー迄ご用意頂きました。

南と西が全て窓ガラスの明るい広々とした部屋でのミーティング(3月の台湾訪問を議論)は、清々しく、思い出深いものとなりました。又その後の忘年会は、戦後間もなく三宮に開店したお店「梅春園」で台湾料理を堪能致しました。



<日本のお正月> 米谷 明子

「新年快樂」「明けましておめでとうございます。」日本のお正月の伝統行事をご紹介します。

元来、お正月は年神様(その年の家族の健康やお店の商売がうまくいくことを約束してくれる神様)を家に迎え祝う行事です。

準備

各家庭では12月30日に正月飾りをします。

1. 門松(写真A)

松飾りとも言います。幸せを運んでくれる神様が地上に降りてきて素通りされないように門松を飾ります。

写真A



2. しめ飾り(写真B)

玄関に飾ることで災いが外から入ることを防ぐと言われます。

写真B



3. 鏡餅(写真C)

年神様を迎えるお供え物です。お餅はまんまるで「円満」、それを重ねることで年を円満にするという意味がこめられています。



写真C

元旦

1月1日を元旦といいます。

家族や親戚が集まって新しい一年の始まりをお祝いします。

お正月に欠かせないものが「お屠蘇」と「おせち料理」です。

元旦にお屠蘇器(とそき)(写真D)でお酒をのみます。その年の邪気を払い無病息災を願ってのむ風習です。

おせち料理(写真E)はお正月に食べるお祝い料理です。「めでたさを重ねる」という意味で重箱に詰めます。祝い鯛はめでたいと語呂合わせで頂きます。



写真D